

記事掲載：2023年3月

翻訳：2023年3月

## 危機状況下からのポストカード

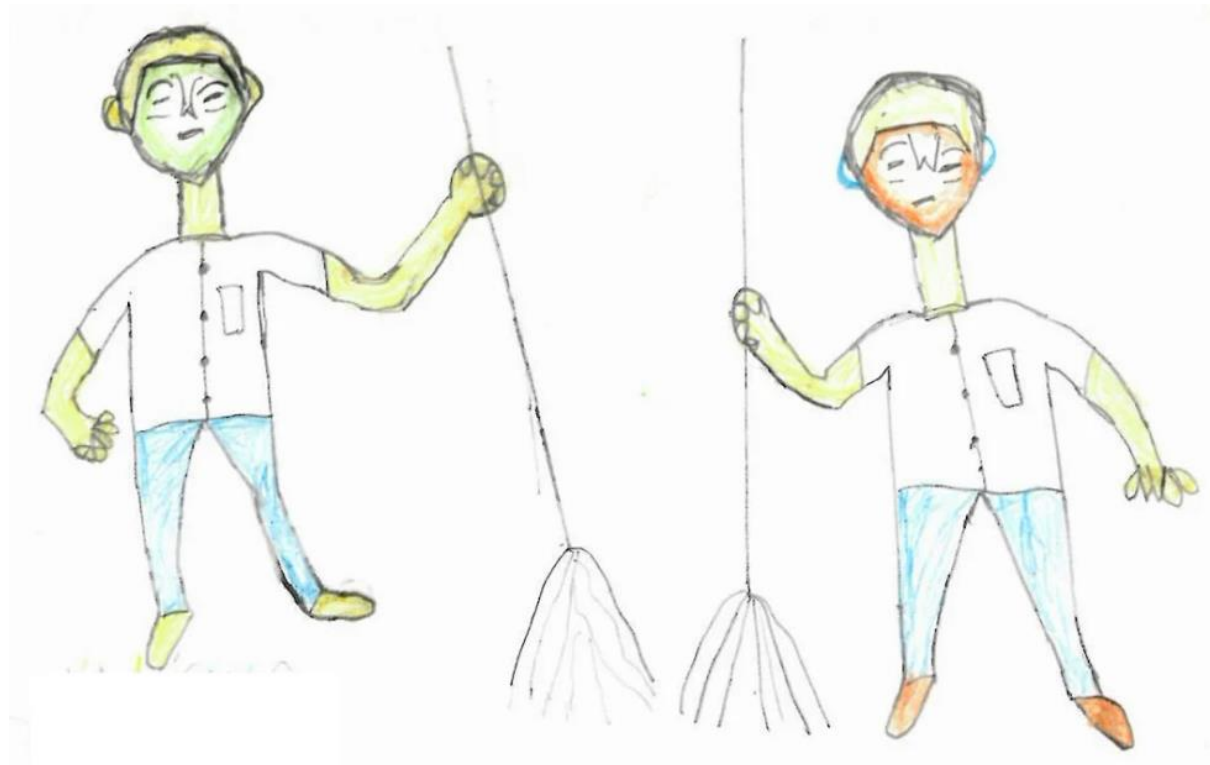
紛争や危機の最前線にいる子どもが、ECW と万人のための教育を確保するための世界的な取り組みを支援するため、世界の指導者に手紙を送ります。

2023年2月、国連の緊急時の教育のための国連グローバル基金である ECW は、戦略的なパートナーに対し、世界中の危機的状況にある女の子や男の子に、教育が彼らの生活にどのような影響を与えているのか教えてほしい、と頼みました。

この「危機的な状況下に暮らす子どもたちからの手紙」は、教育の力についてリアルな声を届けてくれます。兵士による恐ろしい攻撃から逃れること、テロ行為によって家を破壊されること、国を離れること、飢餓の中で生活すること、暴力の恐怖の中で学校に通うことがどのようなことなのか書かれています。

それは、逆境に立ち向かう希望のメッセージであり、すべての人に教育をという約束を果たすよう指導者に呼びかけるものです。

**中央アフリカ共和国に住む 14 歳のルカス\*は、村が兵士による襲撃を受け、教育を中断されました**



医者になることを夢見るルカス ©UNHCR/Lucas

「ある日の朝、お母さんと一緒に畑に行きました。畑に着くと、武装した男たちがやってきて私たちを見つけ、私の目の前でお母さんはを殺されました。彼らは私も殺そうとしましたが、彼らの1人が拒否しました」と彼は振り返ります。

コンゴ民主共和国の難民キャンプに到着し、希望が持てない時期に、ルカスの学校は彼に目的意識を与えてくれました。

「大きくなったらお医者さんになってコミュニティの役に立ちたい...勉強したら故郷の村に帰って働き、人々の役に立ちたい、というのが夢です」

**イラクでは、12歳のシリア難民であるカミル\*が、故郷の街で暴力が発生したため、移住を余儀なくされました**



カミルはシリアの家を出て、避難してきた。©Save the Children/Kamil

シリアでは、爆発の恐れがあるため、カミルの両親は彼を家から出ませんでした。

「ある日、両親に内緒で外出したら、自動車爆弾の大きな爆発音が聞こえたんです」とカミルは言います。

自動車爆弾が彼の友人とその家族を殺したと知り、彼と彼の両親はイラクに逃れました。新しい街に移り住んだ彼は、新しい学校で安全とコミュニティを手に入れました。彼は未来に大きな夢を持っています。

「将来は建築家になり、自国シリアや、戦争や破壊の影響を受けているすべての国の建設や復興に貢献したいです」

南米では、政情不安や治安の悪化、ギャングの暴力などにより、何百万人もの人々が強制避難しています



ソフィアは、新しい国で学校に通う機会を与えられたことに感謝しています©UNICEF/Sofia

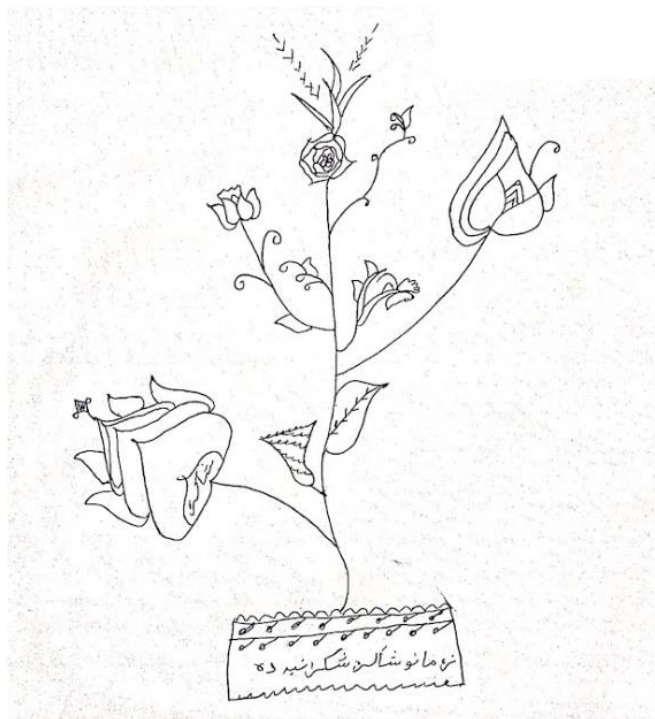
ソフィア\*は 8 歳のとき、母国ベネズエラを追われました。彼女は故郷の思い出を振り返ります。

「今は近所の集合住宅に住んでいます。ちょっと危ないし、公園にも一人で行けないけど、家族と一緒にいられるし、ベネズエラに住んでいた頃を思い出せるので気に入っています」と語ります。

ペルーでの生活に慣れるにつれ、彼女は学校で新しい友人を作り、強制移住のトラウマから回復するために必要なサポートを得ています。彼女は、クラスメートや先生から受けた親切に感謝しています。

「私のように移民で、新しい国でより良い生活をするために国を離れる女の子はたくさんいます。だからこそ、私は世界の指導者たちに呼びかけているのです。彼らが、女の子と男の子の教育を優先事項にし、学業を修了するためのすべての要件と物資を与えることを求めます」。

世界中の女の子が、忘れないで欲しいと要求しています



ナフィサは、多くの人が学校に通えない中で通う機会を与えられたことに感謝しています

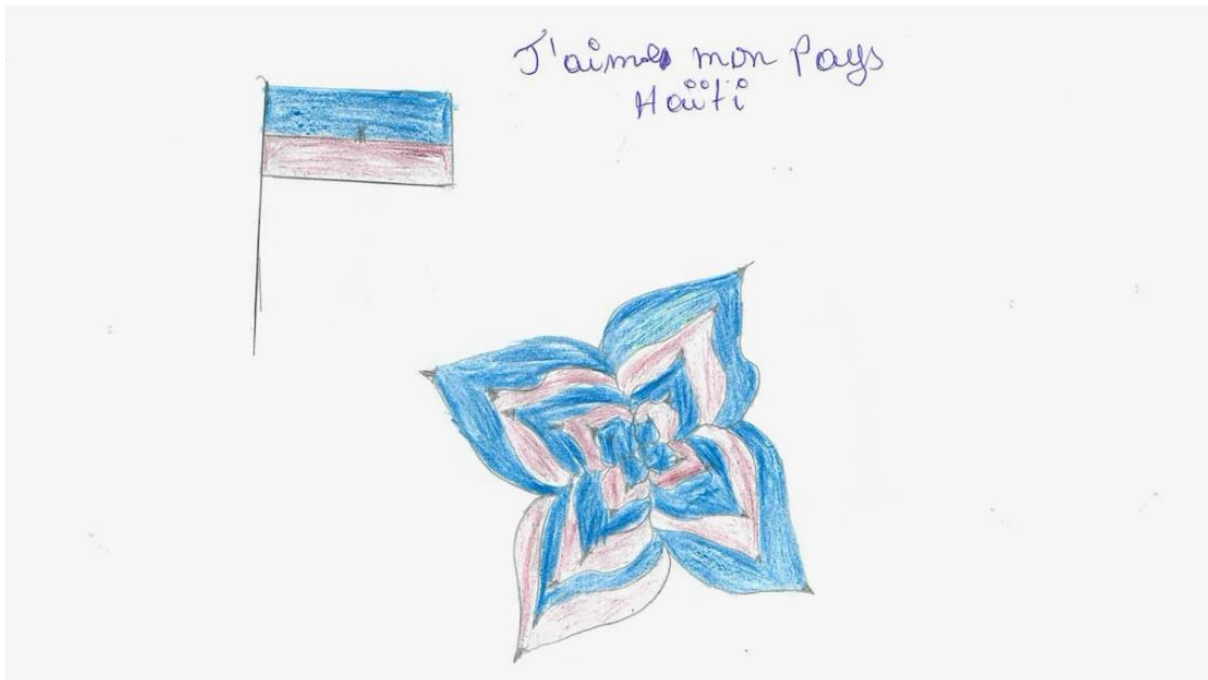
©Street Child/Nafisa

アフガニスタン出身のナフィサ\*は外科医になることを夢見っていますが、彼女の国では女の子が活躍する機会が減ってきています。

「世界の指導者たちをお願いしたいのは、アフガニスタンの情勢に細心の注意を払うことです。私や私の姉妹には教育が必要です。世界から忘れ去られてはいけません」と彼女は言います。

当面の間、彼女は非正規学校で授業を受けることができます。彼女は、アフガニスタンの女の子と男の子のための学習の場を増やすための資金提供をドナーに求めています。

ギャングによる壊滅的な被害が数百万人に及ぶハイチで、14歳のダーリン\*は教育という強みを見いだしました



ダーリンは、ハイチの他の何百万人もの子どもたちと同じように、より良い未来を求めています

©UNICEF/Darline

「教育制度はボロボロです。政治的、経済的、社会的危機です。インフレ、燃料の枯渇、国内の治安の悪さ、ギャングの暴力などで、学校は機能していません」とダーリンは言います。「今日、私たちは学校へ行きますが、恐怖を感じています。制服を着ることも避けています」

ダーリンは医者になりたいと思っています。

「次世代のユースが、もう武器を持たず、もう国を不衛生な状況にしないようにしたいです...変化を要求します！」





ECW には、世界 20 カ国超の女の子や男の子から数十通の手書きの手紙が届いています

©Plan International

## 教育の最前線で活躍する

ECW の戦略的パートナーである[プラン・インターナショナル](#)、[セーブ・ザ・チルドレン](#)、[ストリート・チャイルド](#)、[ユネスコ](#)、[UNHCR](#)、[ユニセフ](#)、[ワールド・ビジョン](#)、その他多くの団体が、機会を提供し、貧困を終わらせ、次の世代により平和な世界を築くという教育の力を強調するために、一人ひとりの証言を集め続けています。

2 月 16～17 日にスイスのジュネーブで開催された [ECW ハイレベル増資会議](#)において、世界の指導者たちは、危機の中で生きる 2 億 2200 万人の女の子と男の子の教育を支援するために、8 億米ドルを超える資金拠出を約束しました。これらの新たな取り組みは、ルカス、カミル、ソフィア、ナフィサ、ダーリンのような子どもたちに、教育だけがもたらすことのできる機会と希望を与えるでしょう。

会議中、参加者は端からのポストカードを見たり聞いたりしていました。

世界で最も脆弱な子どもたちからの「危機状況下からのポストカード」をぜひお読みください：

[Hadiza\\*](#)、カメルーン

[Abeba\\*](#)、10 歳、エチオピア

Oliva\*、マダガスカル

Zawad\*、11 歳、バングラデシュ

Huma、パキスタン

Jacques\*、13 歳、ハイチ

Amani\*、12 歳、南スーダン

Doménica\*、11 歳、エクアドル

Awa\*、マリ

\*個人情報保護の観点から名称を変更しています。

【翻訳前の記事（英語）】

<https://www.educationcannotwait.org/news-stories/human-stories/postcards-from-the-edge>